

●研究テーマ

チョークの3R.2

動機

小さくなったチョークを捨てているのを見て「もったいない」と思い、チョークのリユースができないか、と考えてこの実験を行った。

内容

本研究はチョークの再利用を試みた研究である。1年次の研究ではチョークを絵の具や再度チョークとして利用することを研究していたが、本研究では、より完成度の高いチョークを作成するための条件について探究した。また、炭酸カルシウムを固めた場合との比較から、チョークに含まれる粘結剤が再利用可能であることを示していたり、石灰岩から発想を得て、岩石の続成作用をふまえてより固く使いやすいチョークを作成する方法について探究し、検証したりしている。

まとめや感想

この研究を通して、チョークはホタテの貝殻などから再利用されていることを知った。またチョークを実際につくり、小さくなったチョークを再びチョークとして再利用することができることがわかった。今後は実験する機会があれば、書きやすさや見た目などのクオリティを上げることに挑戦していきたい。